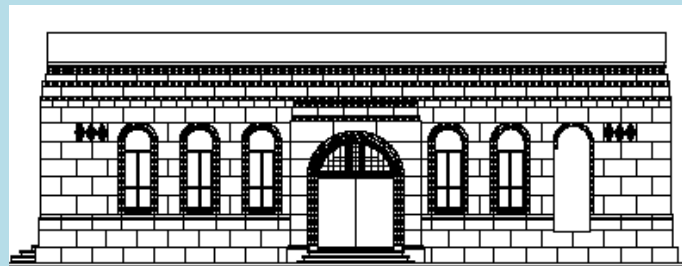


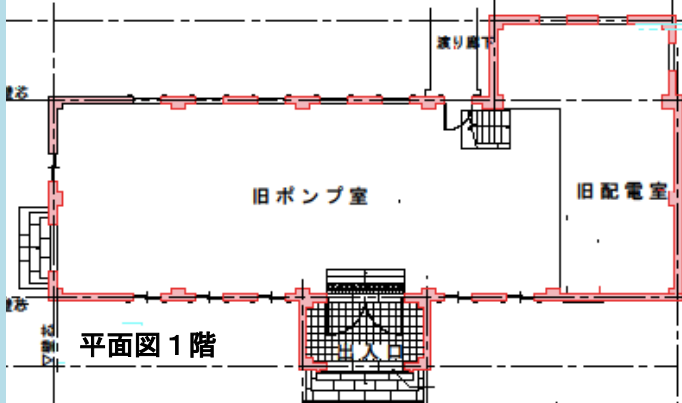
豊橋市上水道施設下条取水場旧ポンプ室（げじょうしゅすいじょうきゅうぼんぷしつ）：建築物
 1 棟/下条西町字三ノ下 60/鉄筋コンクリート造平屋地下 1 階建、建築面積 137 ㎡/昭和 4 年/豊橋市上下水道局

下条取水場旧ポンプ室は、取水場敷地のほぼ中央にあり、正面出入口を南に向けて建っています。当初は「送水場唧筒場」と呼ばれ、地上 1 階、地下 1 階建で、更にこの地下がポンプ井となっていました。1 階はポンプ機械室と配電室に区別され、地下 1 階には縦軸型ポンプ本体や吸込管等が設置されていました。

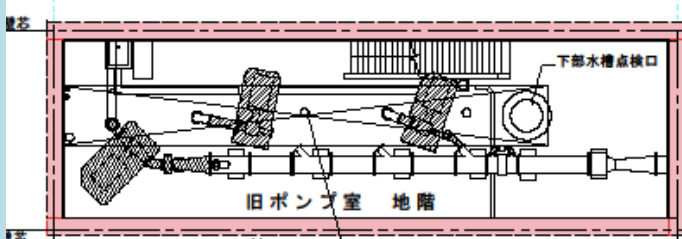
平面は、間口 19.1m×奥行 6.1mの矩形部に、間口



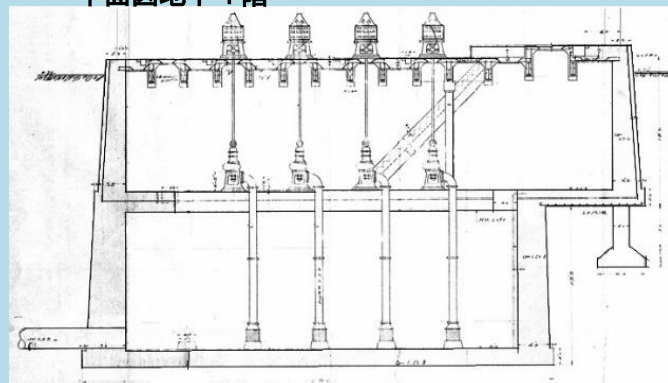
立面図



平面図 1 階



平面図地下 1 階



当初設計図(地下室・ポンプ井断面)



インディアンのレリーフ

5.5m×奥行 2.4mの突出部が付く L 型となり、正面中央には間口 3.8m×奥行 2.1mのポーチが付いています。

外観は、石造風に目地を切った花崗岩小粒の洗出しで、腰周りは花崗岩積み、入口と窓上には半円形のアーチとなっています。正面入口の階段は花崗岩小タタキ仕上げ、ポーチ床はモザイクタイル貼りで、腰壁は白のモザイクタイルで上部に幾何学模様がデザインされ、素朴で装飾気の無い重厚で落ち着いたロマネスク風建築となっています。

正面の左右壁面には、3 面一体のインディアンの面のレリーフ（守り神か？）が取り付けられています。



地下室の様子

この建物は、昭和 51 年(1976)まで、ポンプ室として使用され、その後電気室へ用途変更され、平成 8 年(1996)からは資料倉庫として利用されています。